



# 長門の話題

## Topics

### 「ひと」と「しごと」をつなぐハブ拠点施設として活用

### ジャパンラグビートップチャレンジリーグ公式戦

### 大雨の中、激戦が展開される

9月26日(水)、長門市しごとセンターの開所式が行われました。この施設は市内の産業の魅力発信や人材育成、創業支援などを行う目的で整備を進めてきたものです。

開所式では大西市長が「産官学労金がしっかりと連携し、人材がこの施設で育つてほしい」とあいさつ。管理運営を

委託されたNPO法人つなぐの岡藤明史理事長は「会員のみなさんとスクラムを組んで地元根付いた施設としていきたい」と抱負を述べました。

長門市しごとセンターはコワーキングスペースやシェアオフィス、キャリア教育拠点室などを備え、火曜日を除く週6日使用できます。

9月29日(土)、ジャパンラグビートップチャレンジリーグ公式戦が、俵山スタジアムで開催されました。

トップチャレンジリーグは日本最高峰のラグビートップリーグで、現在8チームが属しています。この日は、初のトップリーグ昇格を目指す

「マツダブルーブーマーズ」と昨季までトップリーグで活躍していた「NTTDコモレッドハリケーンズ」が対戦。この日はあいにくの天候でしたが、激しいプレーの応酬に観客から熱い声援が送られました。試合は52対19でNTTDコモレッドハリケーンズが勝利しました。



▲看板を掲げる大西市長と岡藤明史理事長



▲利用方法などは長門市しごとセンター (TEL 27-0360) へ



▲レベルの高い見応えのあるプレーに会場から歓声

### 子どもから大人まで楽しみながらまちを盛り上げる

### チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院の演奏を披露

10月14日(日)、約150人の仮装をした子どもたちが仙崎地区を練り歩く「ながとハロウィン2018」が、仙崎公民館をスタート、道の駅センザキッチンをゴールとして開催されました。

参加者らは魔女や映画のキャラクターに扮し、「トリックオアトリート」と声を出しながらみずぎ通りを散策。通りの所々でお菓子をもらいながら道の駅センザキッチンを目指しました。

ゴール地点では射的や輪投げなどの縁日コーナーが設けられ、仮装をした子どもたちで賑わいを見せていました。



▲約150人の子どもたちが思い思いの仮装を楽しんだ

9月27日(木)、ルネッサなごとで「日露交歓コンサート2018」が開催され、市内の全中学校の生徒や市民ら約600人が鑑賞に訪れました。

国際音楽交流会が主催して今年で27回目を迎えるコンサートで、全国11地区20会場で開催されており、県内では9月26日(水)の山口ゆめ花博の会場と、ルネッサなごとの2会場で開催されました。

コンサートは第一部と第二部の二部構成で行われ、ピアノやヴァイオリン、チェロの演奏やソプラノ、テノールの歌声が披露され、観客は良質な音楽を堪能していました。

また、アンコールでは「証城寺の狸囃子」「ふるさと」と日本の歌曲も披露され、「ふるさと」は会場に訪れた全員で歌うなど盛り上がりを見せました。

### 市場町として栄えた古市地区の古き町並みを楽しむ

### 古市レトロでバザール

10月14日(日)、古市ひろば周辺で「古市レトロでバザール」が開催され、多くの人出で賑わいました。

古くから市場町として栄えた古市地区の古民家や空き家を活用して地域の魅力を発信しようと昨年度から開催されているもので、バザーやフ



▲たこ焼きなどのバザー、どんぐりのワークショップなどで賑わう



▲美しい歌声と音色が会場に響き渡る

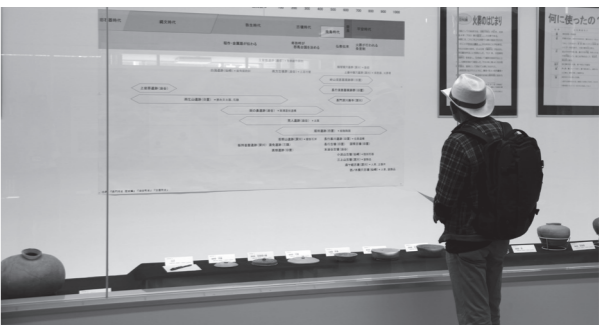
## 市内の古代遺跡を身近に

長門市歴史民俗資料室の企画展「発掘された長門〜近所の古代史〜」が10月1日から31日までの間、同室で開催されました。

企画展では市内各地の遺跡から発掘された5世紀から9世紀初頭のかめや青銅器、勾玉などの出土品約50点が展示

され、出土品にまつわる解説や市内遺跡の位置図、年代表もあわせて展示されました。

また、県埋蔵文化財センターに所蔵されている長門深川廃寺の瓦も展示され、来場者はこの企画展でしか見ることのできない貴重な出土品などに目撃していました。



▲年代表や位置図で、出土品について詳しく解説

## 依山公民館の指定管理者制度導入から10年

### これまでのあゆみを振り返る

依山公民館の指定管理者制度導入から10年を記念し、「指定管理10年のあゆみ館」が10月1日から10日までの間、同館に開設されました。

依山公民館は平成20年10月1日に公民館としては県内初となる指定管理者制度を導入し、運営を依山地区発展促進

協議会が担ってきました。同協議会の取組は高く評価され、総務大臣賞や公民館報コンクール7年連続入賞などを果たしています。館内には公民館だよりや10年間の地区の出来事をまとめた年表が展示され、感慨深く見る来場者の姿が見られました。



▲依山地区10年のあゆみ年表をのぞき込む来場者

## 長門のPeople



### 皆様に愛される道の駅を目指して

村田 大助 さん (道の駅センザキッチン 駅長) / 東深川在住

10月1日付けで道の駅センザキッチンの駅長に就任した村田大助さん。これまで長門大津農業協同組合でAコープ店長などを務め、生産者とのつながりや店舗運営の経験が豊富です。

「市内外から注目を集める施設で重責を感じる日々ですが、皆様からの励ましの声を支えとなっています。現場に立ってみたい、土日のお客様の多さにびっくりしています」と就任後の感想を話す村田さん。道の駅センザキッチンの強みを「施設が充

## 旬な人



▲「市民からの励ましの声を支えになっている」と村田さん

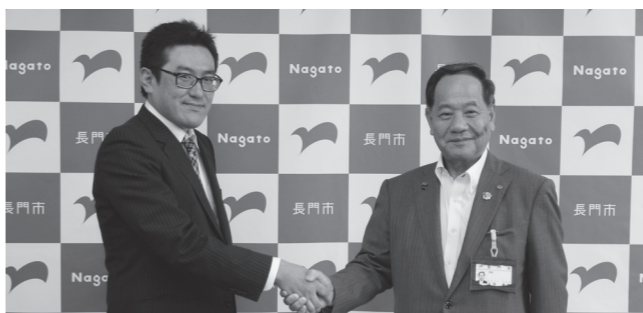
## 林業と日置地区の活性化を

新たに2人の地域おこし協力隊が着任し、辞令交付式が市役所で行われました。

9月19日付けで着任した西口直樹さんは林業振興担当として三隅地区で活動します。西口さんは岡山県倉敷市出身でこれまで森林組合などで林業に携わってきており、「林業の技術を学び、自伐型林業

を目指したい」と意気込みを語りました。

10月1日付けで着任した杉村和紀さんは日置地区の担当として地域振興に取り組みます。杉村さんは東京都で設計事務所勤務した経験があり、「地域のことを知り、自分のできることで絡めて活動したい」と述べました。



▲「シイノキなどの広葉樹の価値を上げていきたい」と西口さん



▲「地域の情報発信や空き家調査などに取り組みたい」と杉村さん

## 三隅・日置地区で災害避難訓練

いざという時に備え、防災意識を高める

10月2日(火)に日置地区災害避難訓練が、10月16日(火)に三隅地区防災避難訓練が実施され、それぞれ地区の園児や児童生徒のほか、関係する行政機関が避難訓練に参加しました。

訓練はそれぞれ、山口県日本海沖を震源とする大規模な地震が発生し、最大震度5程度を観測、直後に津波警報が発令された想定で行われました。



▲水消火器を扱い、的確に的にあてる訓練 (日置地区)



▲手をつないでグラウンドに避難 (三隅地区)

た。学校では地震が起きたことを知らせる放送がかかるなど、生徒たちは一斉に机の下に入って頭を守るなど安全姿勢を取り、その後整列してグラウンドに避難しました。訓練終了後は、水バケツ消火や水消火器を使用して火元に当てる初期消火体験が行われ、市消防本部の講師の指導を受けながら、消火器の扱い方を学んでいました。